

A vertical stone pillar with a castle tower on top, extending from the bottom left towards the top left. The tower has multiple levels and a traditional Japanese architectural style.

# 大名町通りの整備に関する提案

大名町通り高質化整備対策委員会

平成 31 年 3 月

松本城どまんなか・大名町通り

“居心地よい 洗練された 登城道”



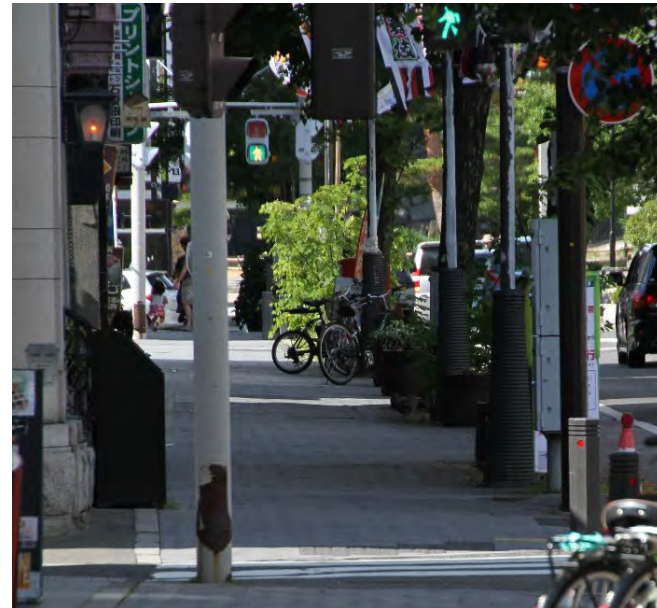
1.	大名町通り高質化整備対策委員会と本提案について .....	1
2.	大名町通り高質化整備対策委員会の取組みについて .....	2
3.	これまでの街路整備の経緯.....	3
4.	これまでのまちづくりの方針.....	4
5.	大名町のまちづくりに関するアンケート .....	5
6.	大名町街路の現況.....	6
7.	大名町まちづくりへの思い.....	8
8.	大名町の街路ビジョンの提案.....	9
9.	提案および要望 .....	10
10.	市街地の交通・歩行ネットワークにおける大名町と市街地街路の位置づけの整理の必要性.....	11
11.	現況の大名町通りと将来の街路の基本的な考え方 .....	12
12.	街路の使い方 .....	15
13.	夜間照明の考え方 .....	16
14.	街路樹や広報物の考え方 .....	17
15.	大名町通り高質化整備対策委員会における現況把握と大名町街路のこれからの方向性の提案 .....	18
16.	大名町歩道における設置物の現況 .....	27

## 1. 大名町通り高質化整備対策委員会と本提案について

現在、これからの都市構造にも影響を与えるような松本市の大型のプロジェクトである南西外堀の復元、外堀大通りの拡幅、松本市立博物館の移転などが進行中です。大名町を取り巻く環境の大きな変化が見込まれるなかで、大名町町会およびお城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロックでは、これまで継続して大名町のまちづくりに取り組んできました。

街の魅力向上を目指す大名町のまちづくりにおいて、松本市立博物館の新築、外堀大通りの完成、南西外堀の復元といった変化に対して、松本城三の丸のメインストリートでもある大名町の街路がどのようにあるべきかの検討は町としても大きな課題となっています。

松本市が大名町の街路改修について検討を始めるとの方針が定まったことも踏まえ、大名町だけでなく松本の魅力を向上させる大名町の街路の在り方について大名町町会では今年度、高質化整備対策委員会を立ち上げ、専門家を招いた学習会や視察なども踏まえたうえで委員会において検討を重ねてきました。現況街路についてリサーチを行いながら街路の在り方を問い直し、今後のより良い街路の在り方を探る議論を重ねたうえで、本提案「大名町通りの整備に関する提案」を作成しています。



## 2. 大名町通り高質化整備対策委員会の取組みについて

大名町通り高質化整備対策委員会の取組みにおいては、長野県地域発元気づくり支援金を受けながら、ブランド力ある大名町通りの創造を図るため私たちが街路の調査を行い、街路について学びながら今後の在り方について検討を進めてきました。また、より魅力的な街路と育てていくために2回の視察および専門家を招いた講演会を2回開催し、街路に対する理解を深めるなかで大名町の街路の将来について話し合ってきました。

### 大名町通り高質化整備対策委員会の実施

- |                       |               |                        |                 |
|-----------------------|---------------|------------------------|-----------------|
| ① 5月23日(水)19:00～21:30 | 第1回委員会        | ⑧ 9月18日(火)19:00～21:30  | 第5回委員会          |
| ② 6月6日(水)18:00～20:00  | 委員会準備部会       | ⑨ 10月9日(火)19:00～21:30  | 第6回委員会          |
| ③ 6月12日(火)19:00～21:00 | 第2回委員会        | ⑩ 10月25日(木)15:00～18:00 | 講演会講師との大名町街路観察会 |
| ④ 6月22日(火)14:00～17:00 | 大名町街路観察会      | ⑪ 12月11日(火)19:00～21:30 | 第7回委員会          |
| ⑤ 7月2日(月)11:00～14:00  | 大名町・周辺地区街路観察会 | ⑫ 2月12日(火)20:30～21:00  | 講演会講師との大名町街路観察会 |
| ⑥ 7月17日(火)19:00～21:00 | 第3回委員会        | ⑬ 2月25日(月)19:00～21:30  | 第8回委員会          |
| ⑦ 8月7日(火)19:00～21:00  | 第4回委員会        | ⑭ 3月6日(水)19:00～21:30   | 第9回委員会          |

### 視察

- ① 9月7日(金)6:00～20:00 横浜市視察（馬車道・元町・中華街・日本大通り・山下公園等）都市デザイン室職員の方の案内
- ② 1月24日(木)7:00～20:00 東京大丸有地区視察（三菱地所・大丸有地区エリアマネジメント担当者による案内）

### 大名町都市デザイン講演会

- ① 10月25日(木)18:30～20:00 場所：ギャラリーノイエ  
第1回大名町都市デザイン講演会「通りの賑わいを演出する～街路樹や街路灯等を考えるために～」講師：井上洋司氏（ランドスケープデザイナー）
- ② 2月12日(火)18:30～20:00 場所：大手公民館視聴覚室  
第2回大名町都市デザイン講演会「光環境が創出する心理的効果とは」講師：矢野大輔氏（照明デザイナー）

### 3. これまでの街路整備の経緯

大名町は松本城三の丸の基軸として江戸時代には大名小路と呼ばれていました。明治時代になると大手門や塀や土塁が破却され、土地利用も大きく変わり、居住施設のみならず商業関連施設やオフィスなどが立地してきました。現在でも商業、業務、居住といった複合的な土地利用が大名町の特徴となっています。また、これまでも松本城のメインストリートとして機能し、地元の方や観光客が歩行する主要動線として使われるだけでなく、イベント時には歩行者天国化されハレの場としての機能も持っています。そのような大名町の街路の変遷として、これまでに昭和48年近代化(道路拡幅11m→16m)事業、昭和61年電線地中化事業、平成4年歩道美装化(大名町コミュニティ道路事業)が行われてきました。

現在、南西外堀の復元、外堀大通りとしての拡幅、松本市立博物館の移転などこれからの都市構造にも影響を与えるような大型の事業が進展し、大名町についても松本がより魅力的な都市へと育つための街路として位置づけを再定義し、これからの時代に応じるより魅力的な街路、大名町通り創造のための取組みを進めていきたいと思っています。



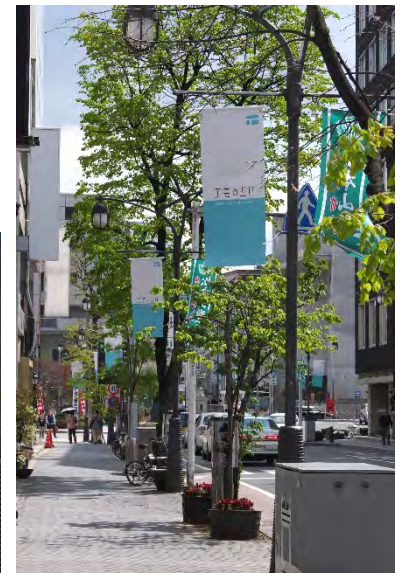
平成4年改修工事時の写真



平成4年改修のイメージ



現在の歩道



街路樹と街路灯

#### 4. これまでのまちづくりの方針

##### ■松本市三の丸地区整備基本方針

松本市三の丸地区整備基本方針では、大名町に関して「松本市企業の通りから交流の通りへ、通りと一体のコミュニティーエリア、通り沿いの心地よいスケール感、通りと建物をつなぐ空間」と4つのテーマが提示され、大きな方向性を示しています。

##### ■お城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロックまちづくりガイドライン

(街路に関する部分を抜粋)

中心市街地から松本城天守へと向かう、松本城の目抜き通りに相応しい風格を持った街路を目指します。博物館・観光バス駐車場・城下町と松本城天守を結ぶ観光散策路であると共に、市役所と中心市街地を結ぶアクセスでもあり、市民・観光客を問わず多くの歩行者が行き来することから、歩行者にとって快適で安全で楽しい街路空間を充実させます。

##### ■お城周辺地区まちづくり推進協議会第2ブロックまちづくりガイドラインまちづくり協定

(街路に関する部分を抜粋)

- ・ブランド感のある風格と魅力あふれる街をめざす
- ・目抜き通りとして高度利用し賑わいを創出する
- ・歩行者空間を楽しんで過ごせる街路空間とする
- ・昼夜を問わず一日を通して賑わいの創出につとめる
- ・市民や来訪者のコミュニティー拠点として触れ合う交流の場を創出する
- ・歩道と車道が一体となるような空間づくり（舗装仕上げなど）をする
- ・城内への玄関口として交通のあり方を考える
- ・通過交通の抑制につとめる
- ・ます形はまちの中心としてモニュメント性をもたせ、活動的な場としてデザインする



出典：三の丸地区整備基本方針



出典：お城周辺地区まちづくり推進協議会  
第2ブロックまちづくりガイドライン

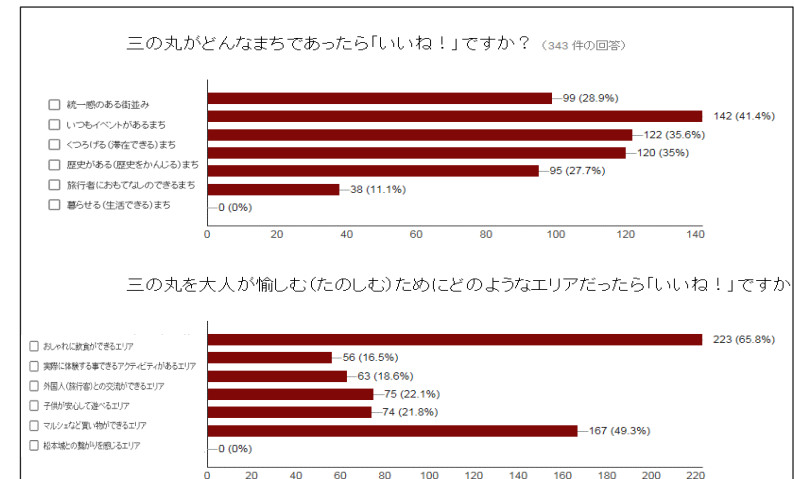
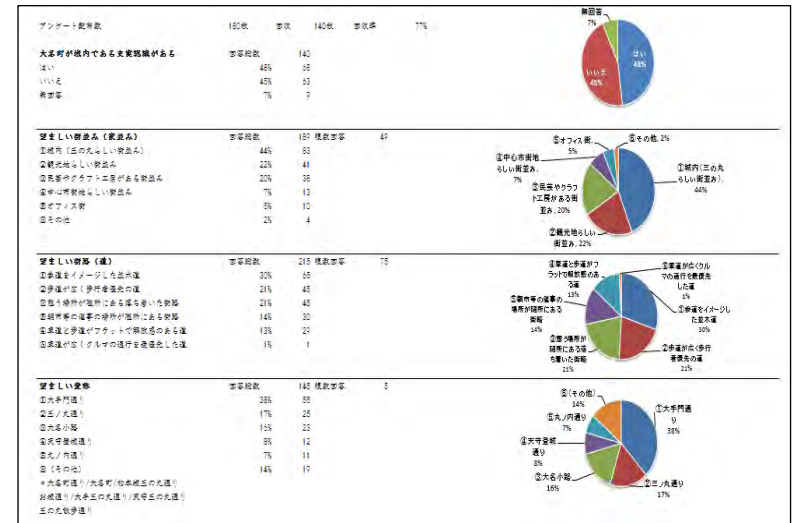
## 5. 大名町のまちづくりに関するアンケート

### ■大名町町会内アンケート（平成26年）

平成26年、大名町町会では町会員にアンケートを実施しました。街路に関するアンケート結果として、参道をイメージした並木道（30%）、歩道が広く歩行者優先の道（21%）、憩う場所が随所にある落ち着いた街路（21%）、朝市等の催事の場合が随所にある街路、（14%）車道と歩道がフラットで開放感のある道（13%）、車道が広く車の通行を最優先した道（1%）となり、また別の設問においては、歩行者優先の歩道を拡幅（26%）、憩いの場や朝市等のスペース確保（25%）、休憩用のベンチ・パラソルを設置（21%）、貸自転車事業の充実（14%）、信号や表示物に「三の丸」を明記（14%）となっており、松本城を意識しながら歩行者を主役にし、憩いや街路アクティビティが盛んな通りが求められている状況となっています。

### ■三の丸倶楽部アンケート（平成28年）

三の丸倶楽部では、イベント時において来街者に対してアンケートを行ってきました。三の丸のまちの在り方に対する質問に対して、いつもイベントがあるまち、くつろげる（滞在できる）まち、歴史がある（歴史を感じる）まちに対する回答率が35%を超え高くなっています。また、別の設問ではおしゃれに飲食ができるエリア、松本城との繋がりをを感じるエリアへの回答が多くなっています。

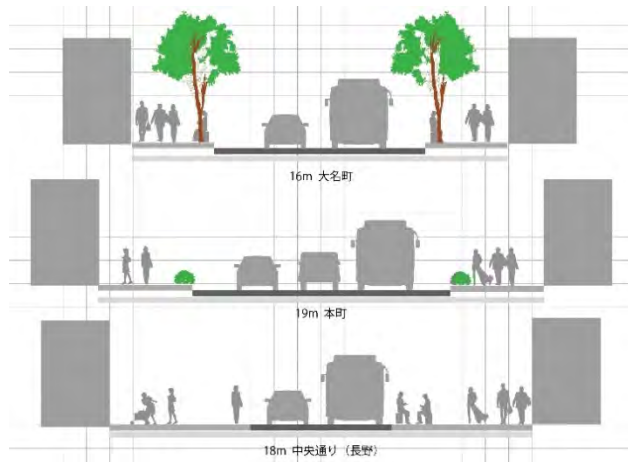


## 6. 大名町街路の現況

大名町は昭和48年に街路幅が11mから16mに拡幅されましたが、観光客や通勤者など多くの歩行者の通行を考えた場合には、16mの幅員は広いとは言えません。しかし、16mをさらに拡幅することは難しいため、16mの幅員をどのようにすれば最大限に魅力的にできるかどうかを考える必要があります。

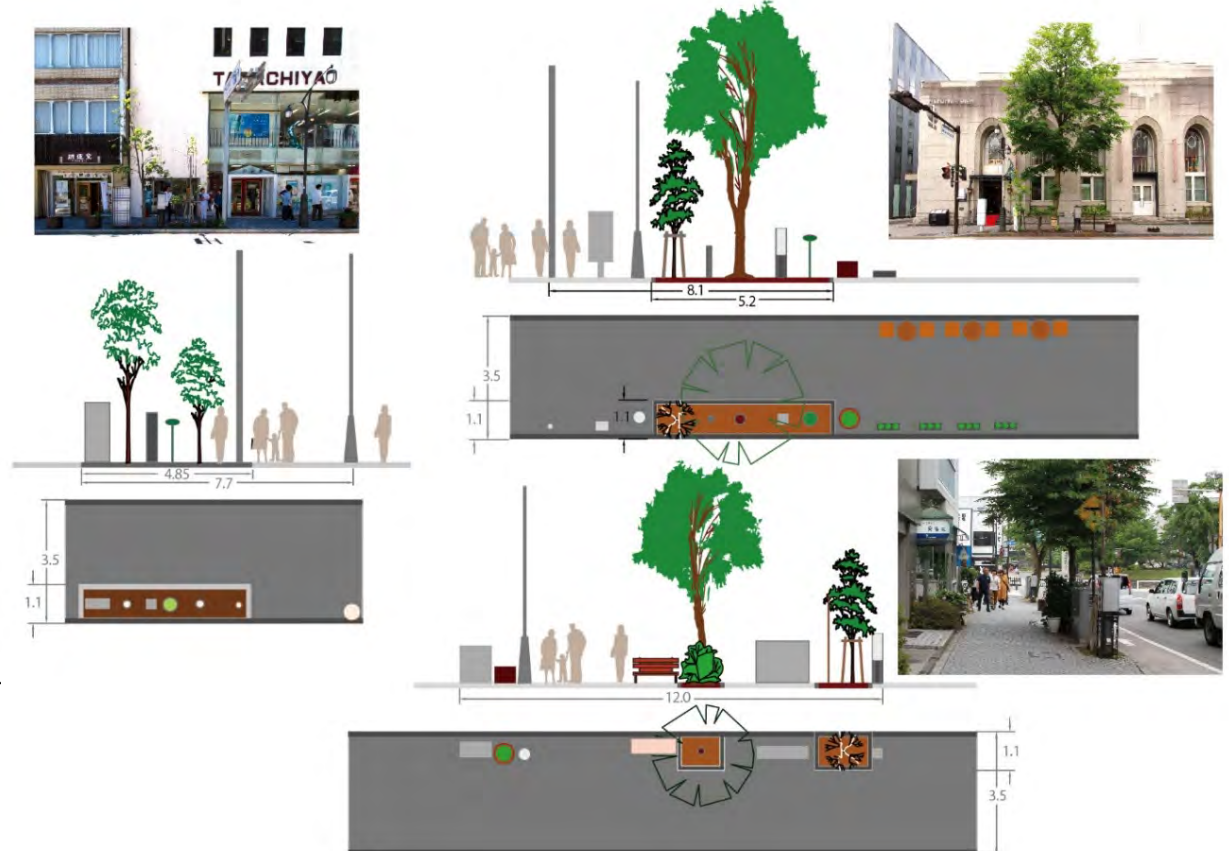
また、歩道には2種類の街路灯、街路樹、変圧器、街路灯分電盤、灰皿、プランターなど多くのものが置かれており混乱した印象をうける状況です。詳しい現況の評価に対しては、提案の後半に整理して記載してあります。

### ■本町（19m）、長野市中央通り（18m）と大名町の比較



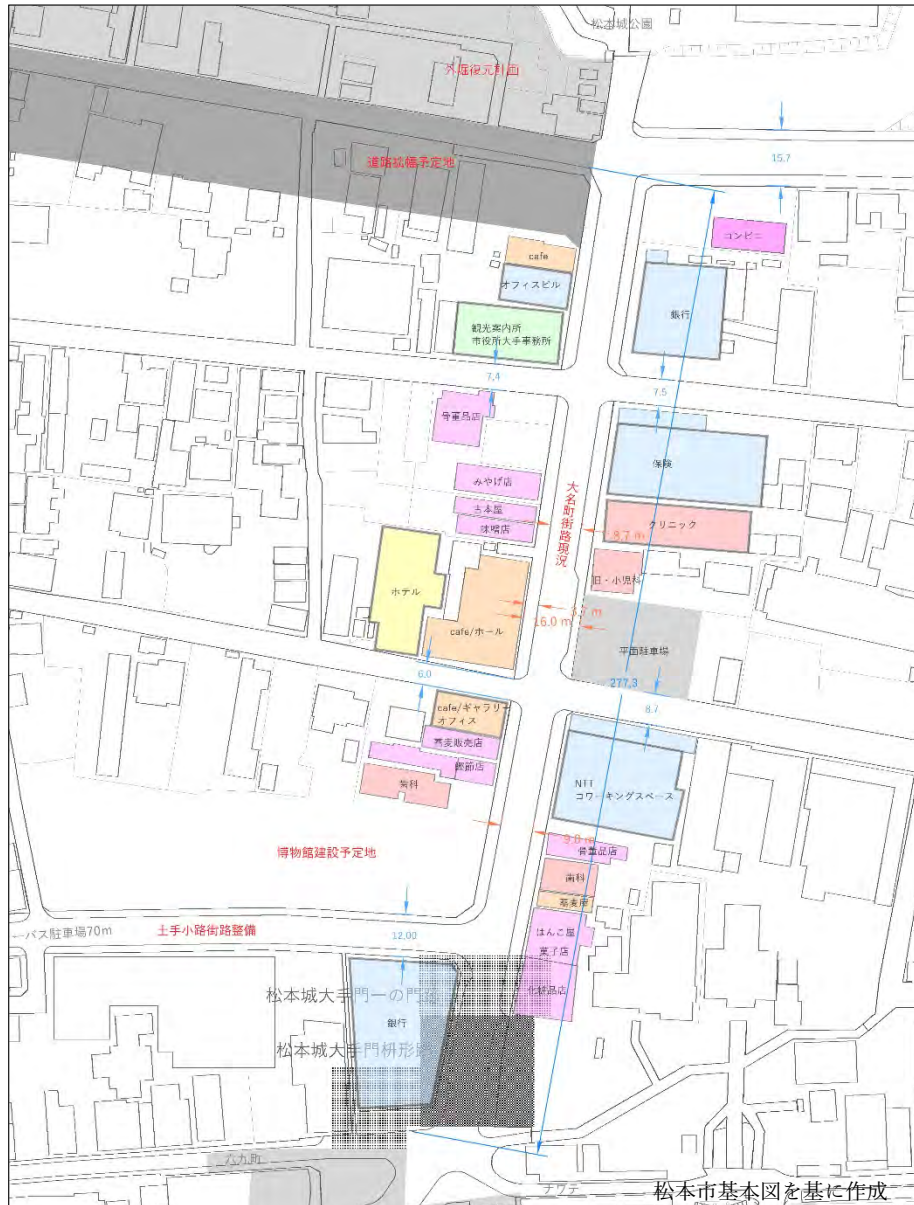
- ・歩道に数多くの設置物があり、雑多な印象を受けてしまう。
- ・せっかくの高木の木陰も、樹木の周囲に設置物があり木陰を楽しめない状況である。
- ・憩える場所がほとんどない
- ・歩道幅員3.5mでも植栽柵の幅が1.1mなので、1m以下のテーブルや椅子を配置してもそれほど問題はないが、少し窮屈さを感じる状況である。
- ・歩道に段差があり街路に一体感を感じない。車が主役の道路だと感じてしまう。

### ■歩道設置物の現況





■土地利用の現況



■街路に対する設置物の現況 (より詳細な調査結果は後方ページに)



## 7. 大名町まちづくりへの想い

これまでの松本市三の丸地区整備基本方針やまちづくり協定の内容、三の丸倶楽部による来街者へのアンケート、お城周辺地区まちづくり推進協議会で行ってきたワークショップの意見なども踏まえながら、今年度、大名町通り高質化整備対策委員会ではまちづくり学習と大名町通りの将来に対して話し合いを進めてきました。その中で、私たちのまちづくりへの想い「どんな大名町に？」を共有し、将来の大名町通りに対する検討の結果、描き出された大名町の街路ビジョンを提案します。

### ■大名町通り高質化整備対策委員会でまとめた私たちのまちづくりへの想い「どんな大名町に？」

「大名町」＝

- ・ 来て楽しい、働いて楽しい、住んで楽しい
- ・ 大名町に行こうよ！とみんなに言われる
- ・ 歴史を生かし、現代の新たな価値を生む
- ・ 松本城の目抜き通りにふさわしい洗練さを感じる
- ・ 歩いた人が帰ってみんなに伝えたいようなストリート自体が来街目的にもなる
- ・ 歩行者や滞留者のエクスペリエンスが最高
- ・ 多様な人々の交流が盛んで、ご縁が回る

## 8. 大名町の街路ビジョンの提案

松本城三の丸の中心に位置する大名町通りは、地元はもちろん、パレードやイベントなどにも頻繁に利用されるように松本や松本周辺の人にとってハレの場、発信の場としても松本地域全体にとって重要なストリートです。また日本、世界各地からの松本城天守に向かう多くの観光客が散策する場でもあり、世界の人々を魅了する大名町であることも松本にとって大切なことです。同時に、大名町は商業やサービスの場だけでなく、日常では働く場、暮らしの場でもあります。楽しむ、働く、暮らすといったことがつながり多様で豊かな交流を生み出す街路、松本城の本物の歴史を大切に、新たな文化や将来誇りを持てるような歴史を生み出すようなストリートに育てることが大切だと考えています。

そのために、自動車が主役ではなく、歩行者や街路で過ごす人の体験を最優先に考え、日常でもイベントの時にも様々な人が心地よく行き交い交流できるみんなが素敵だと感じる街路にしたいと願っています。

このような観点と大名町のまちづくりに対する想いも踏まえて、地元の人、松本の人、日本の人、世界の人、みんなが楽しく、ワクワクする街路を目指した大名町の街路ビジョンを提案します。

※街路の将来像の基本的な考え方については13および14ページの図にまとめてあります。



### 大名町の街路ビジョン

## 『居心地よい洗練された登城道 ～松本城どまんなか・大名町通り～』

歩行者や滞留者が主役、歩くのが楽しく居心地がよいストリート

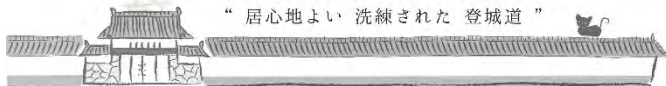
世界の人、日本の人、地元の人、みんながワクワクするストリート

洗練さを感じるストリートデザイン

松本城三の丸の基軸となるストリート

松本城どまんなか・大名町通り

“居心地よい 洗練された 登城道”



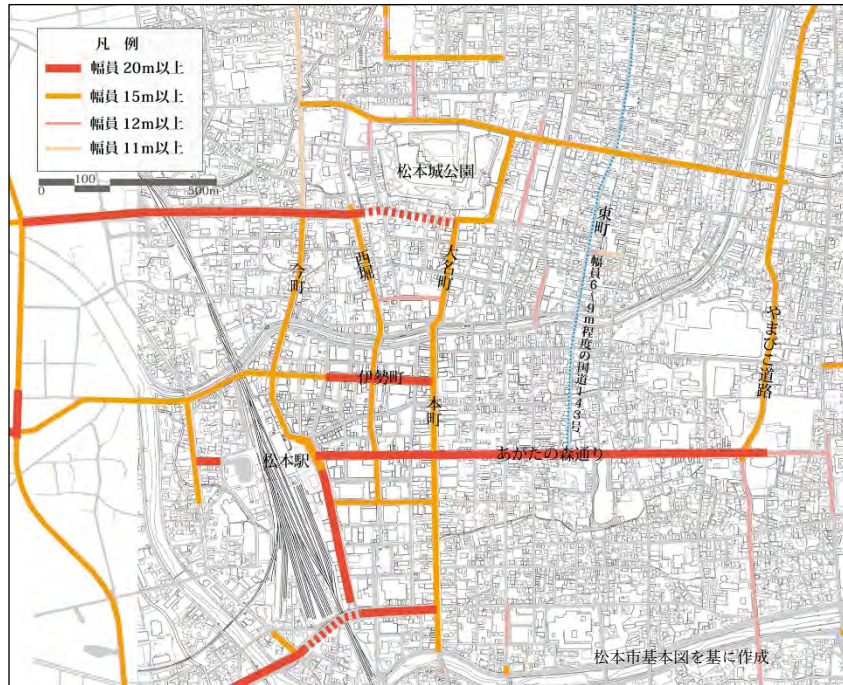
## 9. 提案および要望

- ・ 街路ビジョンやまちづくりへの想いを尊重した街路整備（街路の各要素について検討した大名町通りのこれからの方向性と提案は表「大名町通り高質化整備対策委員会における現況把握と大名町街路のこれからの方向性の提案」を参照）
- ・ 歩行者や滞留者の良い体験を一番優先に考える「松本城のメインストリート」としての洗練された街路の創造
- ・ 街路再整備に関して、ランドスケープデザイナー、照明デザイナー、街路樹の専門家、サインデザインの専門家、ストリートデザインの専門家を交えて街路空間を総合的に考えられる体制をつくった上で、地元と協働しての検討および設計
- ・ 市街地全体の短中長期的な街路・道路の役割や位置づけの整理
- ・ ランドスケープデザイン、照明デザイン、サインデザイン、ストリートデザインなど都市デザインに関係する分野の理解を深める学習機会に対する支援
- ・ 模型を見ながら将来について考えられるようにする、私たちだけではできない専門的なリサーチを行うなど、まちづくりをより身近に考えることができ、進めやすくするためのまちづくり環境の整備
- ・ 整備に関係する市役所職員さんには、いままでにないような魅力的なストリートをつくるために、新たなことに挑戦するという気概をもって私たちと一緒に都市デザインを進める努力をしていただきたいと思っています

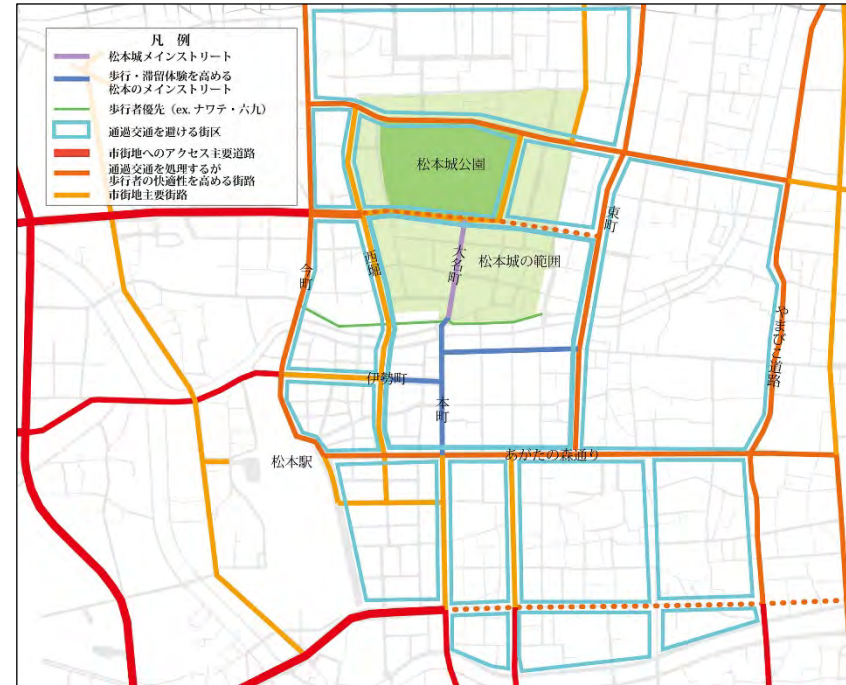


## 10. 市街地の交通・歩行ネットワークにおける大名町と市街地街路の位置づけの整理の必要性

### ■ 現況の街路幅員

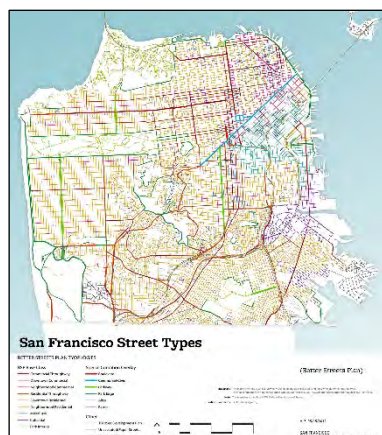


### ■ 交通を体系的に整理して考える必要性



交通動線やメインストリート、通過交通を避ける範囲などの位置づけ例

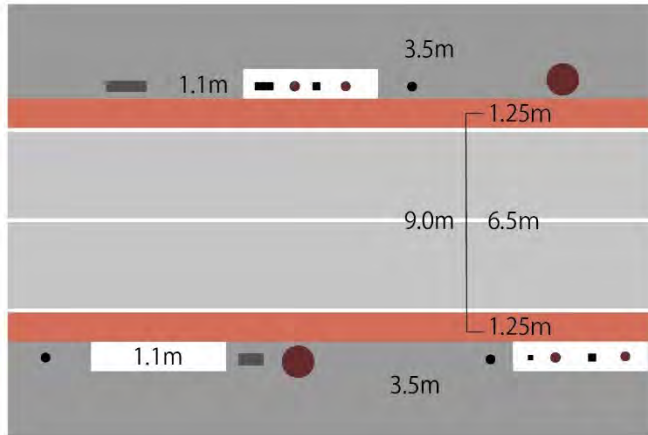
市街地におけるそれぞれの街路の役割や位置づけについては、現在わかりやすい資料がないため、松本の魅力を高め、持続可能な都市を構想するためにも、現時点での短期的な課題や問題点のみならず長期的な戦略を考えたうえでの街路の役割や方向性を整理する必要があると考えています。



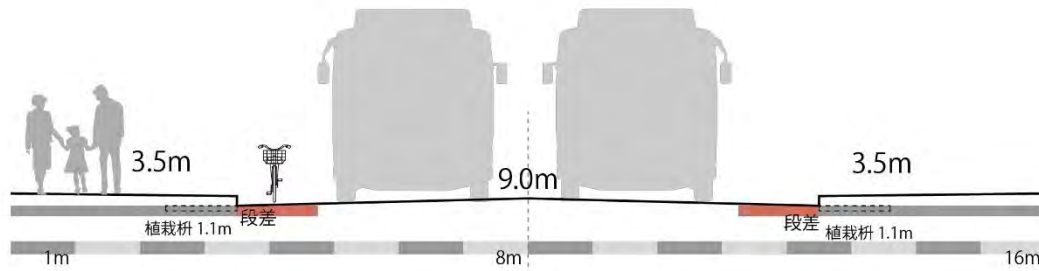
市街地街路の役割や位置づけを整理している事例（サンフランシスコ市）

## 11. 現況の大名町通りと将来の街路の基本的な考え方

現況：自動車が主役と感じ、歩道部にはいろいろなものが乱立している



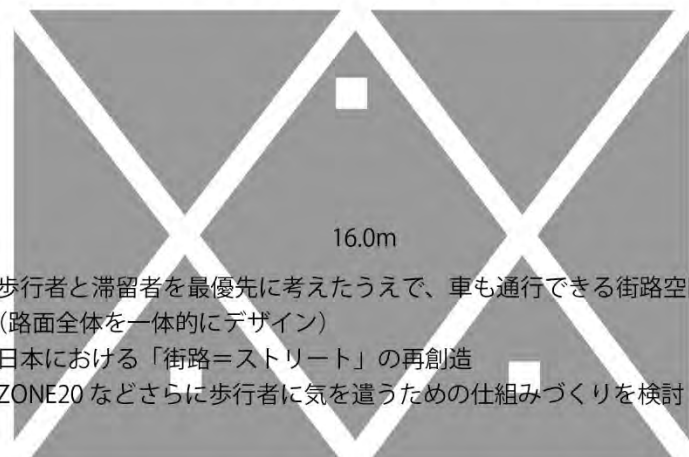
- ・植栽柵のなかに樹木、街路灯、灰皿、街路灯分電盤など様々なものが乱立
- ・トランス、街路灯、信号設備、様々なプランターなどいろいろなものが多数設置されている



将来：大名町通りの考え方①

大名町の街路ビジョン「居心地よい洗練された登城道～松本城どまんなか・大名町通り～」

歩行者と滞留者の体験を最優先させる街路「歩道部と車道部の舗装を変えずに街路を一体的にデザイン」



歩行者と滞留者を最優先に考えたうえで、車も通行できる街路空間  
(路面全体を一体的にデザイン)

日本における「街路＝ストリート」の再創造  
ZONE20 などさらに歩行者に気を遣うための仕組みづくりを検討

- ・横断断面は段差をなくしフラット化 (狙い：歩行者・滞留者が主役となるストリートの一体感、車椅子やベビーカーの動きやすさ、居心地の良い空間、イベント時も使いやすい)
- ・横断断面の路面勾配は排水を考えつつもできる限り小さく
- ・できれば排水路を街路中央にまとめ1本とする
- ・ベンチやオープンカフェのためのスペースの確保
- ・土休日など自動車通行の需要が少ないときは街路全体を歩行者空間化、またはトランジットモール化
- ・なるべく街路灯の本数、トランス、街路灯分電盤などの数は少なめに、配置も景観が良くなるように考慮する
- ・ポラードの設置は極力控える
- ・街路樹の植栽柵はなるべく小さく
- ・高木の周囲には設置物を置かず、緑陰の下にベンチなどを置く人が滞留する空間に

歩行者・滞留者・自動車共有空間事例



ロンドン市エキシビジョン通り

写真出典：http://spacing.ca/



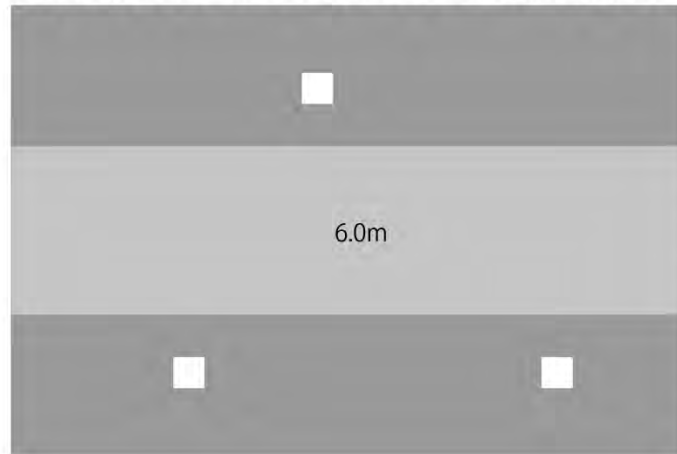
セビリア市サンヤシント通り

写真出典：http://spacing.ca/

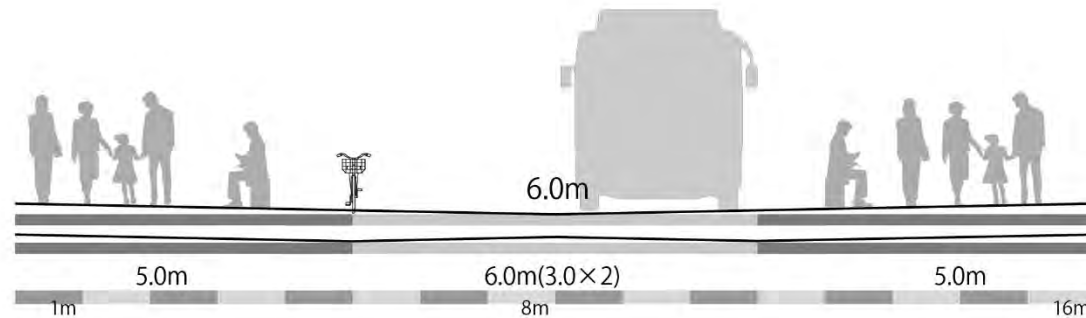
将来：大名町通りの考え方②

大名町の街路ビジョン「居心地よい洗練された登城道～松本城どまんなか・大名町通り～」

歩行者や滞留者を主役にし、歩道部と車道部の段差を設けなくて街路の一体感を感じる路面構成



- ・歩道と車道の段差をなくしフラット化（狙い：歩行者・滞留者が主役となるストリートの一体感、車椅子やベビーカーの動きやすさ、居心地の良い空間、イベント時も使いやすい）
- ・横断断面の路面勾配は排水を考えたつもできる限り小さく
- ・できれば排水路を街路中央にまとめ1本とする
- ・ベンチやオープンカフェのためのスペースの確保
- ・車道を狭くすることで、車もこれまでよりゆっくりと、自転車の通行にも配慮
- ・土休日など自動車通行の需要が少ないときは街路全体を歩行者空間化、またはトランジットモール化
- ・なるべく街路灯の本数、トランス、街路灯分電盤などの数は少なめにしたうえで、配置も景観が良くなるように考慮する
- ・ポラードの設置は極力控え、必要最低限の数にする。取り外し可能なものとすればイベント時などは街路空間を一体的に利用できる
- ・街路樹の植栽柵はなるべく小さく
- ・高木の周囲には設置物を置かず、緑陰の下にベンチなどを置く人が滞留する空間に



出雲市神門通り

写真出典：土木学会ホームページ

歩車道を分離せず一体型の街路空間形成事例



## 12. 街路の使い方

大名町の街路ビジョン「居心地よい洗練された登城道 ～松本城どまんなか・大名町通り～」を目指すうえで、日常やイベント時など街路の使い方がとても重要となります。歩くのが楽しく、居心地が良いという視点では、現在はほとんど滞留者がいない状況を改善し、楽しく滞留する人が多いほど、大名町に来たくなるという動機が増える、また楽しく過ごす滞留者がいることで歩行者の楽しさがさらに高まるというスパイラルを作りたいと考えています。制度上の様々な制約がある現状ではありますが、日本においても近年街路使用の柔軟な運用が見られるようになってきたため、松本城メインストリートとしての価値を高めるために来街者が楽しくなるような街路の使い方を検討し、楽しい街路となるよう日本における先進的な事例を創っていきたいと願っています。

イベント時の大名町



オープンカフェ的に利用した事例



狭い空間でも街路を楽しむ工夫



狭い歩道でもオープンカフェ



歩道のマーケット事例



水を歩行者空間に活用した事例



### 13. 夜間照明の考え方

夜間景観においては、現状の大名町は街路灯光源の連なりが目立ち、少し暗い印象の通りとなっています。雰囲気の良い街路は、建物が上手に照らされ、街路灯があったとしても街路灯の光源自体は目立たない工夫がなされています。歩行者が快適に感じるような照明は、街路灯だけでは生み出せず建物側の努力も必要となりますが、街路灯を検討する際には街路灯の光源が目立つのではなく、本来照らされるべきものが何かという基本を踏まえながら、照明デザイナーなどの専門家を交え検討する必要があると考えています。

街路灯の光源の連なりが目立つ現在の大名町



建物が明るい部分は歩道も明るさを感じる



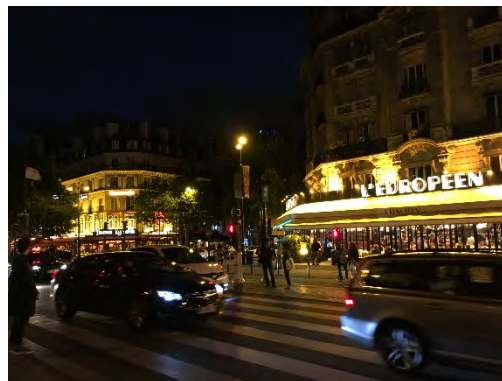
建物が照らされることで街路が明るくなる



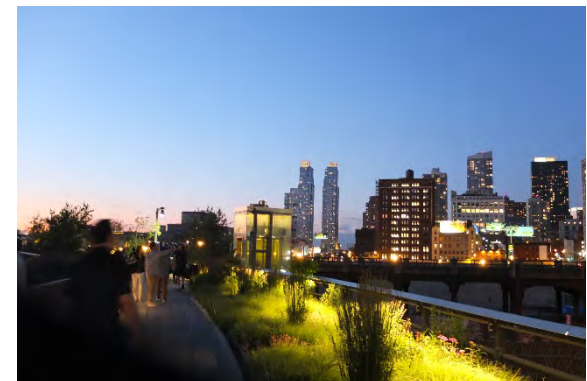
光源も見えるが建物の方が明るい照明



街路灯だけに頼らない夜間景観



草木も照明を工夫することで演出効果が



## 14. 街路樹や広報物の考え方

大名町の街路樹は主にシナノキであり、かおり風景100選にも選ばれましたが、今後は街路樹の役割や植栽する意味を明確にしたうえで、本来どのような街路樹が望ましいのかを問い直す必要があります。高質化委員会ではシナノキを残したいという意見と変えた方がよいという両方の意見があり、大名町における街路樹のあるべき姿や街路樹を植える意図も議論が途中の状況です。16mという幅員のなかで、スペースとの関係性、木陰を楽しむ見た目を楽しむ、葉の蒸散による涼しい微気候などの意図、大名町の局地気候にあった樹種、地下の土壌環境など様々なことを総合的に考えて街路樹を検討する必要があるため、ランドスケープデザイナーや樹木医などの専門家を交えて検討する必要があると考えています。

また、広報物については邪魔にならないようにするとともに、歩く人の目線に対して美しく掲示し街路の演出が効果的に行えるかどうかを課題となります。フラッグなども設置するかどうかも含め、技術的な側面からもサインデザインの専門家を交えながら検討する必要があると考えています。

せつかくの高木も木陰の位置に物が乱立



植栽柵の大きさ



枝の下を揃えて目通しを良くしている事例



歩く人の目線に合わせた広報物



素材感が良く人の目線に配慮しプランターの例



フラッグも綺麗に設置できるとまちの演出に効果



## 15. 大名町通り高質化整備対策委員会における現況把握と大名町街路のこれからの方向性の提案

大名町高質化整備対策委員会において行った街路の現況リサーチ、およびこれからの方向性についての議論の内容を18の項目に整理して記載しています。

現況の良い点および問題点を整理したうえで、提案（これからの方向性）を示しています。

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
① 街路の位置づけ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者ネットワーク、交通ネットワーク、メインストリート、コミュニティー街路など市街地全体として街路ごとの役割の位置づけが明確にされていない</li> <li>・ 昭和 36 年に多くが位置づけられた都市計画道路のネットワークが時代を反映しておらず、これから都市・松本をより魅力的で持続可能とするための総合的な街路構想が不在</li> <li>・ 土地利用と街路の関係性が不明確</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近い将来と長期的に望ましい街路ネットワークの位置づけ、それぞれの街路の役割を整理し、街路整備や街路マネジメントの指針となる基盤をつくる(ex.サンフランシスコ市)</li> <li>・ 歩行者や滞留体験を主役にした街路に位置づけ、その上で必要な自動車も通れるという考え方にしたい（自動車主役の考え方からの発想の転換）</li> </ul>
② 街路と道路の考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モータリゼーションが進みつつあった 1958 年に街路構造令が統合され道路構造令に一本化されるなど、道が街路の多様な役割よりも道路として通行のみを主眼にしたものになってしまい、歩行以外の滞留といった街路の重要な機能がないがしろにされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国や県・警察なども交えて、街路の在り方や歩行者や滞留空間としての街路の位置づけを検討する機会を設ける</li> </ul>
③ 街路のマネジメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街路マネジメントの考え方、運用は始まったばかりであり、しっかりとした仕組化にまでいっていない</li> <li>・ 街路デザインにおいて、自動車交通流の処理の観点がまだ主役となっており、歩行者や滞留を主役にした考え方が浸透していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試行錯誤を繰り返し、より良いマネジメントのための仕組み化を進める</li> <li>・ 街路を移動、滞留、公共空間、交流といった多面的な機能で総合的にデザインするようにする</li> </ul>

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
④ 日常の街路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それなりにきれいに整備されており、安心して歩くことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道と車道の段差があり、車椅子、ベビーカーでは歩道の傾きが大変</li> <li>・ 自転車の通行でたまに高齢歩行者が危ないことがある</li> <li>・ 街路だけでなく、民地にも自転車を止める場所がない</li> <li>・ 井戸が2か所あるが、植栽の水やりや打ち水には十分でない（井戸水を夏場の路面のクールダウンに活用できないだろうか）</li> <li>・ 16mとそれほど広くない限られたスペースである</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者や滞留者の良い体験を一番優先に考え、ストリート自体が来街目的にもなるような「松本城のメインストリート」としての洗練された街路にしたい</li> <li>・ 街路全体が一体感を感じるデザインとしたい</li> <li>・ 自動車の通過交通をできる限り抑えたい</li> <li>・ 土休日の日中には、車道の歩行者空間化やトランジットモールの検討</li> <li>・ 歩車道の段差はなくしたい</li> </ul>
⑤ イベント時の街路（歩行者天国時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源が多いので使いやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道と車道の段差が邪魔</li> <li>・ 車道の横断断面の勾配が急すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩車道の段差はなくしたい</li> <li>・ 道路の横断断面における勾配をできる限り小さくしたい</li> <li>・ イベント時も活用しやすい工夫</li> <li>・ 夜間も楽しめるイベントも考えていきたい。</li> <li>・ 電源等の設備、その他水道や排水なども勘案したい</li> </ul>
⑥ 歩道の使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩いて通行するだけの目的ならそれなりの幅員できれいに整備されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過ごす、滞留する場所がほとんどない</li> <li>・ 歩行以外のアクティビティがほとんどみられない</li> <li>・ 通過歩行がほとんど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩くだけでなく、座る・憩う・滞留するといった街路のアクティビティを高めた楽しい街路を創造するために、できる限り歩道部を広く取りたい</li> </ul>

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
⑦ 街路灯、夜間景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯の色温度は今の色が落ち着いてよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夜間景観として、建物側が暗く現在は街路灯の光源が並んでいることが一番目立っている（街路灯通りになっている）</li> <li>街路灯（高いの、低いの）の本数が多すぎて、歩道の空間がごちゃごちゃしている</li> <li>街路灯だけでは暗い</li> <li>看板の照明の色がまちまちで町並みの雰囲気統一感がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯の本数はできる限り少なくしたい</li> <li>街路灯の光源が目立つことはできる限り避け、照らすべきものを明るくするようにしたい</li> <li>街路灯自体のデザインはシンプルで洗練されたものを</li> <li>必要な個所は街路灯で建物を照らす工夫も</li> <li>歩く人が心地よく感じる照明空間を</li> <li>建物の照明についても、歩行者に心地よく歩くのが楽しくなるような工夫が必要</li> <li>演出効果が高い樹木はライトアップしたい</li> <li>夜間景観についてもガイドライン等作成に対する支援をお願いしたい</li> </ul>
⑧ 舗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターロッキングは綺麗に整備されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターロッキングでは質感が石には劣る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者空間が主役となるような街路の一体的なデザイン（ex.エキシビジョン通り(ロンドン市)、神門通り（出雲市））</li> <li>外堀大通りの歩道や土手小路の歩道と大名町街路に統一感を持たせるデザイン</li> <li>石張りが望ましいが、メンテナンスや美しさ、洗練度、歩きやすさや車椅子の走行性など総合的に材質を考えたい</li> </ul>

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
⑨ 自動車交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それほど混雑していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たまにスピードを出す自動車が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通行する自動車が主役であると感じさせないように車道部を明確化せず、歩行者や滞留者が主役であると感じられる石張りなどのシンプルなデザイン（外堀大通りの歩道とはデザインの統一性を高めるが、車道とは差異をつける）</li> <li>・ 外堀大通りの開通後、流入する通過交通の増加が予想されるため、通過交通をできる限り抑え、スピードを落とす工夫が必要となる</li> <li>・ 困難かもしれないが、日常的な歩行者空間化やトランジットモール化、北向きの一方通行化などと相互通行の比較検討</li> </ul>
⑩ 自転車交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車走行スペースが確保されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車を停める場所がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車も安心して走れる配慮をしたい</li> <li>・ 自転車を停める場所の工夫を検討したい</li> </ul>
⑪ 掲示物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントなどフラッグで演出をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高いところへのフラッグの着脱が危なく、大変</li> <li>・ フラッグがゆらゆらし、風で絡まりなどみっともない</li> <li>・ フラッグ自体のデザインに問題があり、綺麗なまたはカッコいいフラッグがあまり無いため、フラッグを含めた広報物全般のデザインマネジメントが必要な状況</li> <li>・ 現状のフラッグはなんとなくついているだけで、歩行者や自動車に本当に波及効果があるのか不明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報物の効果やフラッグの演出効果、広報物が綺麗に掲示できるのかをくわしく検証し、整備後に設置した方が良いのかしない方が良いのかも含め、整備後の在り方についてサインデザインの専門家を交えて検討する機会が必要</li> <li>・ フラッグ、広報物等サイン関連のデザインマネジメントの仕組みが必要</li> <li>・ 広告収入をまちづくり資金に活用している事例もあり検討したい</li> </ul>



項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
⑫ 街路樹、植栽枡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シナノキの樹形が綺麗</li> <li>・ 木陰を楽しめる</li> <li>・ 花の香りが良い</li> <li>・ 低木がほとんどなくスッキリしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大名町における街路樹を植える目的、街路樹の役割が明確化されていない、共有されていない</li> <li>・ せっかくの緑陰も、街路樹のすぐわきにいろいろなものが置かれているため、緑陰を楽しむスペースが限られている</li> <li>・ 高木は緑陰や樹形が楽しめる一方、剪定コストがかかり頻繁な手入れがし難い、また根が結構スペースを占める</li> <li>・ シナノキから蜜が垂れ、掃除が大変</li> <li>・ 山地や亜高山帯に適したナナカマドは、まちの環境では生育が悪いものが多いし、樹高が中途半端であり美化に役立っていない</li> <li>・ 場所によってはシナノキなどの植樹の生育が悪い場所、繰り返し枯れてしまう場所がある</li> <li>・ 根がルーピングしている気があり、樹勢が弱い木も</li> <li>・ 根張りが歩道を盛り上げてしまう（が、現在のところそれほど歩行には支障なし）</li> <li>・ 植栽枡が広く、さまざまな設置物が置かれているため邪魔な印象を受ける、草が生えたとしても美しくない</li> <li>・ 16m という限られた幅員、地中の樹木に適した生育環境が違う状況で、両側並木の妥当性や在り方も再考する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シナノキについては、残したい人と切った方がよいのではないかという意見が分かれているため、今後、ランドスケープや樹木の専門家も交えて、大名町にふさわしい街路樹の役割や植栽の目的、在り方をより詳細に考える機会を作りたい</li> <li>・ 16m の限られた空間の中で広い面積を占める低木はない方がよい（NY のハイラインのような草木の美しいライトアップなど空間の演出に有効ならば検討も可）</li> <li>・ 街路樹についてはそれぞれの樹木についての目標樹形とカルテを作成し良いより良い管理ができるようにする（ニューヨーク市等では街路樹1本ごとのカルテを作成している）</li> <li>・ 樹木の成長の悪い場所、植えても数年で枯れてしまうような場所と成長の良い場所に対して、同じ通りでも地中の環境がかなり違うことが予想され状況をできる限り把握する必要がある</li> </ul>

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
⑬ プランター		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩く人の目線から見えにくい低い位置にあり、花や緑が映えない</li> <li>・ 花よりもプランターが目立っている</li> <li>・ 市が設置するコンクリートのプランターは大きく、数も多いため統一感をもって良好にするための手入は町のひとでは難しい</li> <li>・ プランターが多く、歩道の空間を狭く感じさせている、プランターが大きすぎる（歩きにくい）</li> <li>・ 色々なプランターがあり、プランターの見本市的な様相で混乱した感じをうける</li> <li>・ 管理されないプランターも多く、雑草に覆われているところも</li> <li>・ 季節ものの草花を年中そのままにしていると、枯れてしまう時期は綺麗でない、土が露出している冬のプランターは綺麗でない</li> <li>・ 花や観葉植物、コニファーや竹などがいろいろと植えられており統一感がない</li> <li>・ プラスチックやコンクリート擬木などプランターの素材感が美しく感じられない</li> <li>・ プランターに植えるために松本市配布の草花の種類は、映えてみえるより綺麗な草花を選ぶ必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プランターもできれば全体的に統一し、歩行者の視線を考えたうえでの高さやデザイン</li> <li>・ プランターが目立つのではなく、植栽が綺麗に映えるようにする</li> <li>・ 数、設置場所、植物の状態を適切にマネジメントできる体制や役割分担の仕組みを官民協働でつくりたい</li> <li>・ 本当に綺麗にみえる草花の種類や、プランターの選択に対して官民協働で専門家も交えた学習をしながら現況を改善しつつ、街路整備後にプランターを設置するしないも含めてプランター植栽の在り方について検討する機会が必要</li> </ul>

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
⑭ インフラ設置物	<ul style="list-style-type: none"> <li>電線類の地中化がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トランスや街路灯分電盤の数が多く、結構なスペースがつかわれている（コンパクトにし、数を減らしたい）</li> <li>電線、電話線等、ガス管、上下水道管等の地中配置の総合的な図面がない</li> <li>井戸があるのに、草花への水やりは水道水でやることになり、また、暑い時期に路面をミストや打ち水などで冷やして快適にするように湧水を活用できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なるべく歩道に設置するトランスや街路灯の分電盤の数を少なく抑えたい</li> <li>共同溝は難しいかもしれないが、地中設備の状態や耐震性をチェックし、必要であれば改修をお願いしたい</li> <li>設置物や街路樹柵、路面デザインに関わる地下埋設物による制約の技術的な検討</li> <li>植栽の水やりや、夏場の路面温度を下げるために使いやすい湧水活用の仕組み検討</li> </ul>
⑮ 信号		<ul style="list-style-type: none"> <li>松本城南の南北方向の歩行者用信号撤去した方がよい（一方通行で、赤の時に車が通らないため）</li> <li>交差点名称は変えたほうが良い（すでに大手門跡を過ぎれば松本城であり、松本城南は言葉として矛盾している。例えば、千歳橋は松本城大手門、松本城は松本城公園・松本城二の丸前、松本城南は松本城公園南・松本城三の丸などの検討が必要）</li> <li>信号制御盤が歩道に独立して設置されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>松本城の本来のエリアに合わせた信号機名称の変更が必要</li> <li>松本城南信号の南北方向の歩行者用信号の撤去</li> <li>三の丸での信号デザインをもっと洗練させ、歩行者用信号のデザインも来た人が楽しめるようなデザインを考えたい</li> <li>信号制御盤は信号ポールに設置</li> </ul>
⑯ バス停	<ul style="list-style-type: none"> <li>八十二銀行前のバス停は雨をしのげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停部の歩道が狭い</li> <li>バス停の車道部の長さが必要以上に長いのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの停車帯に関しては、なくても良いのではないか、どうしても必要な場合は長さや幅を必要最小限にしたい</li> <li>雨や日ざしを避けられ、待合も快適になるような工夫も検討したい</li> </ul>

項目	現況の良い点	現況の問題点	提案（これからの方向性）
⑰ 街並み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1階の軒線の連続性やリズムがなく、歩行者目線で統一感がない</li> <li>・ 建物がバラバラ</li> <li>・ 建物側の展示物など歩行者が歩いて眺めて楽しい工夫がもっと欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーニングなどで軒線をそろえる工夫</li> <li>・ ウィンドウショッピングや展示が楽しめる工夫</li> <li>・ 大名町の来街目的の増加への努力、新規、改装における街並みの統一感の形成は長時間かかるが、地道により良くなるようにしていきたい</li> </ul>
⑱ その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者の楽しさを高めるため、きめ細やかで飽きがこない、かつ遊び心のあるデザインの工夫</li> <li>・ 全体的に安っぽいデザインは使わない</li> <li>・ 天守近くの大名町では、天守などをモチーフとして短絡的に使う安っぽいデザインをせず、使うとしても洗練させたデザインとしたい</li> <li>・ 歴史性と現代性を共にバランスよく洗練させて表現したい</li> <li>・ 黒門や松本城の石碑（夜間も含む）がもう少し大名町から見えるようになるといい。</li> </ul>

## 16. 大名町歩道における設置物の現況



(1)



(2)



(3)



(4)



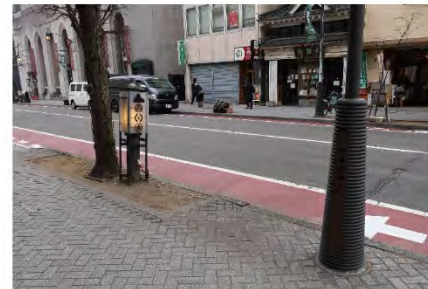
(5)



(6)



(7)



(8)



(9)



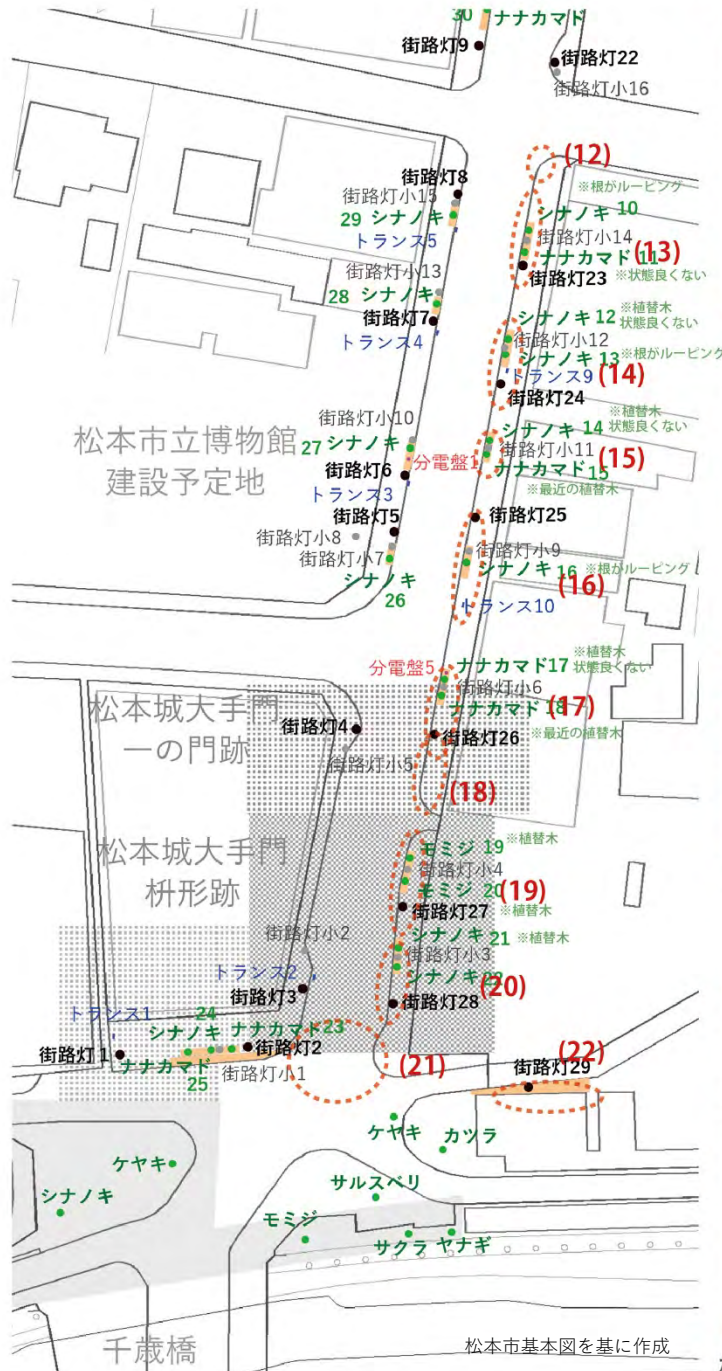
(10)



(11)

様々な設置物がある現在の状況

9のシナノキは樹勢が弱め、注意が必要



(12)



(13)



(14)



(15)



(16)



(17)



(18)



(19)



(20)



(21)



(22)



16のシナノキは根がルーピングしており、注意が必要（16以外の木でもルーピングあり）

様々な設置物がある現在の状況



(23)



(24)



(25)



(26)



(27)



(28)



(29)



(30)



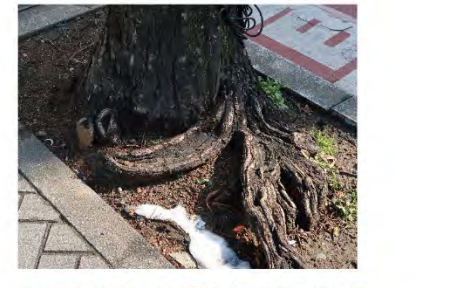
(31)



(32)



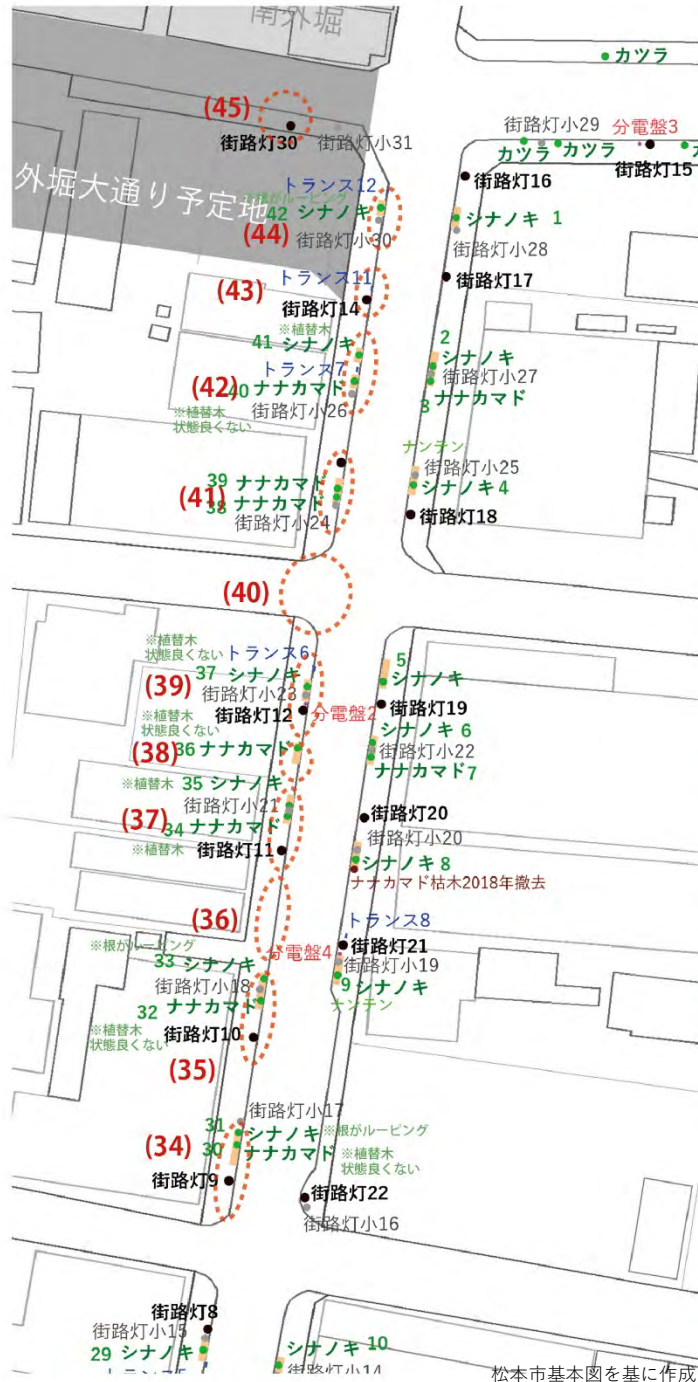
(33)



27のシナノキは根がループしており、注意が必要（27以外の木でもループあり）

様々な設置物がある現在の状況





(34)



(35)



(36)



(37)



(38)



(39)



(40)



(41)



(42)



(43)



(44)



(45)

様々な設置物がある現在の状況



平成 31 年 3 月

作成：大名町通り高質化整備対策委員会

大名町町会	町会長	丸山 貞壽
お城周辺地区まちづくり推進協議会	会長	大宮 康彦
大名町商興会	会長	長谷川 均

大名町通り高質化整備対策委員会	委員長	齊藤 忠政
	副委員長	上原 秀
		神澤 明子
	運営委員	今枝 早苗
		植田 幸恵
	広報委員	今井 誠一郎
		橘 由紀
	会計担当	青柳 努

松本城三の丸倶楽部	座長	齊藤 忠政
	副座長	上原 秀

平成 30 年度大名町高質化整備対策委員会では本冊子の作成も含め「長野県地域発元気づくり支援金」を活用させていただきました。

大名町通り高質化整備対策委員会コーディネーター	倉澤 聡
-------------------------	------

## 居心地よい洗練された登城道 ～松本城どまんなか・大名町通り～

歩行者や滞留者が主役、歩くのが楽しく居心地がよいストリート  
世界の人、日本人、地元の人もみんながワクワクするストリート  
洗練さを感じるストリートデザイン  
松本城三の丸の基軸となるストリート